

令和6年度 入学者選抜学力試験 英語（前期／経済・DS）解答例

〔I〕

解答例：

- (1) コーヒー栽培システムの持続可能性を達成することは、単にある作物を生産するために企図された経済的な諸活動に集中し、生産されるコーヒーから最大の利益を生み出す以上のことを意味する。
- (2) 化石燃料や外部からのインプット（投入物）に過度に依存していることから、たいていの産業化された農生態系は、農業が常に依拠してきた土壌、水や他の資源を過剰に使用し、劣化させている。
- (3) ある意味で、我々は水や化石燃料といった資源をますます将来の世代から借りているので、農場や農業共同体に対するマイナスの影響は、より明白になり続けるだろう。

令和6年度 入学者選抜学力試験 英語（前期／経済・DS）解答例

〔Ⅱ〕

+++++

1) lying flat

2) 報酬の少ない長時間労働を強いる過労文化。

3) 月 200 元 [31 ドル]、1 日 2 食、2 年間働かずに暮らした。

4) 肉体的に健康で、精神的に自由である状態。

5) パンデミックとアメリカとの貿易摩擦によって引き起こされた国内の経済的な景気後退。

6) 週に 6 日、朝 9 時から夜 9 時まで働かなければならない、それでもローンの頭金や子供を持つ余裕がない。

7) 中国の夢である国家の若返り（活性化）と急速な経済成長を妨げるのではないかと懸念しているから。

8) No

タンピン自体が世界的に休息を求める運動の一派である。（インスタグラムのなかには、世界的に資本主義的な圧力に対して、休息やリラクゼーションを提唱しているものもある。）

〔Ⅲ〕

The world could be a bit both better and worse in 100 years. On the good side, technologies that make life easier and healthier may be discovered. People could find better ways to use clean energy, which would help improve the environment.

Of course, there could be problems too. If we don't take care better care of our waste, the environment might get worse. Population growth could lead to not enough food and places to live. Also, new technologies might make some jobs go away, which could make it difficult for some people to find work.

To make the future better, I think we should do our best today. By working together to protect the environment and share resources we could make the world a better place. I hope we will be able to live in a better world 100 years from now.

